



ゼリア新薬
ZERIA

ゼリア新薬工業株式会社

2010年度(2011年3月期) 決算説明会

— 証券コード4559 —

2011年5月27日



目次

I. 2010年度(2011年3月期)の業績

- I-1 連結決算の概要
- I-2 連結売上高
- I-3 連結利益
- I-4 連結海外売上高
- I-5 第6次中期経営計画の成果

II. 第7次中期経営計画

- II-1 目標
- II-2 主要課題

III. 2011年度(2012年3月期)の取り組み

- III-1 通期業績予想(連結)
- III-2 主要課題
 - ① アサコールを医療用医薬品事業の柱に
 - ② ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ
 - ③ グローバル展開を加速
 - ④ Z-338の展開

IV. 新薬パイプラインの状況



ゼリア新薬

Z E R I A

I. 2010年度(2011年3月期)の業績



I-1 2010年度 連結決算の概要

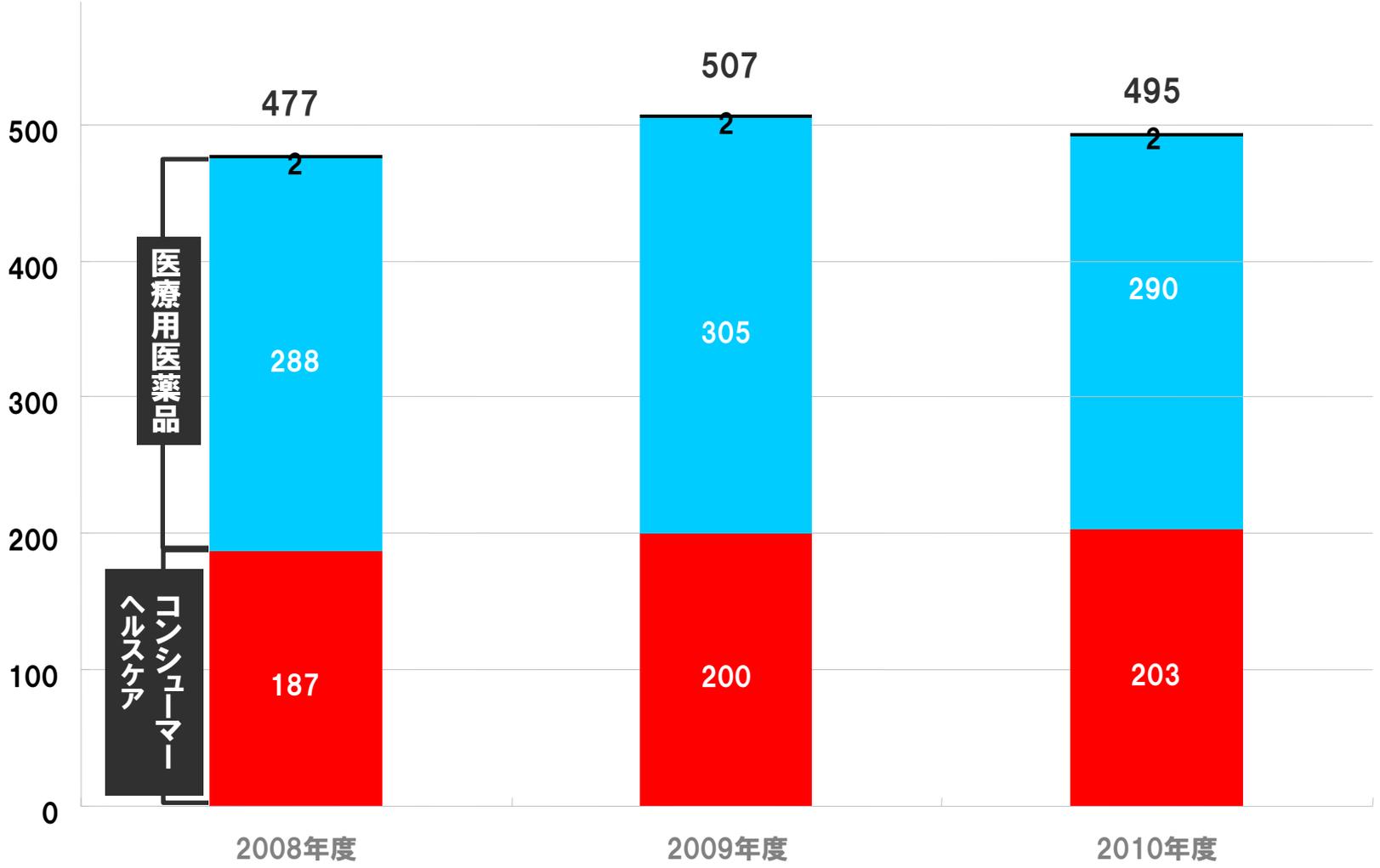
■ 売上高は2.5%の微減収。営業利益は109.0%増、当期純利益は83.9%増とともに大幅増

(単位:百万円)

	2009年度		2010年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前年伸率
売上高	50,745	100.0%	49,482	100.0%	▲2.5%
売上総利益	27,461	54.1%	31,072	62.8%	13.1%
販売管理費	25,876	51.0%	27,760	56.1%	7.3%
営業利益	1,584	3.1%	3,311	6.7%	109.0%
経常利益	1,467	2.9%	3,158	6.4%	115.2%
当期純利益	1,001	2.0%	1,842	3.7%	83.9%

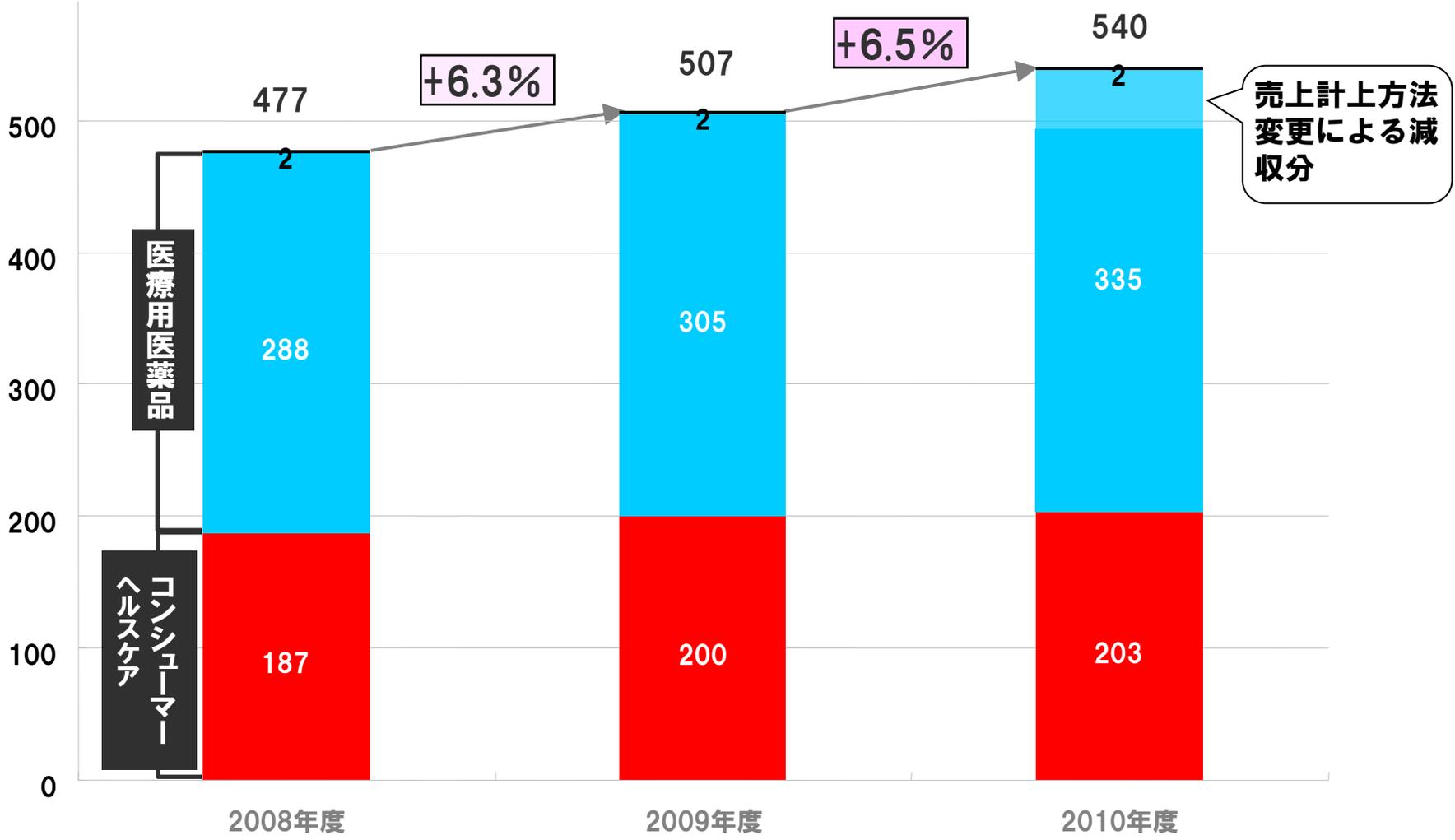
I-2 2010年度 連結売上高

(億円)

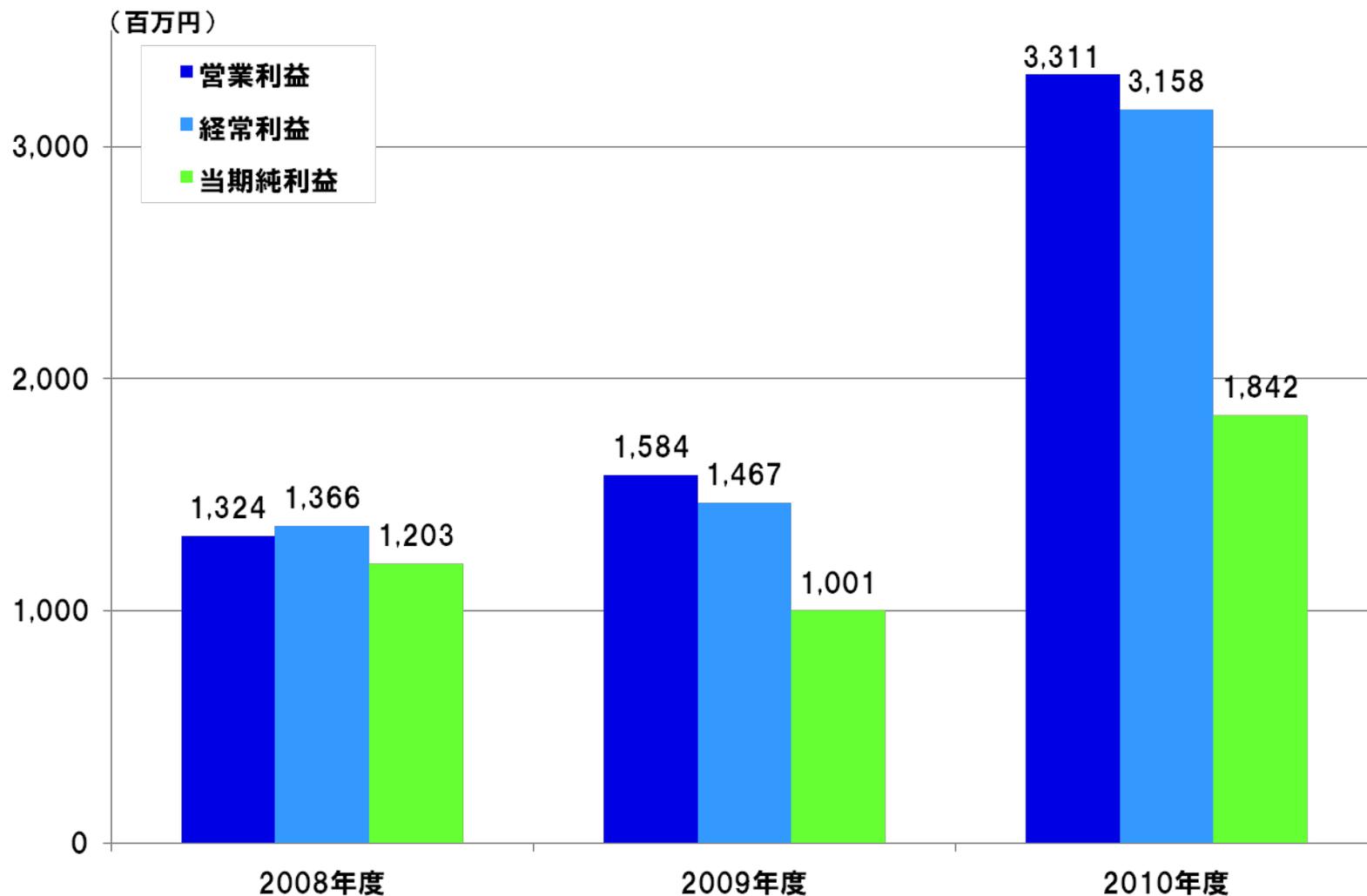


I-2 2010年度 連結売上高

(億円)



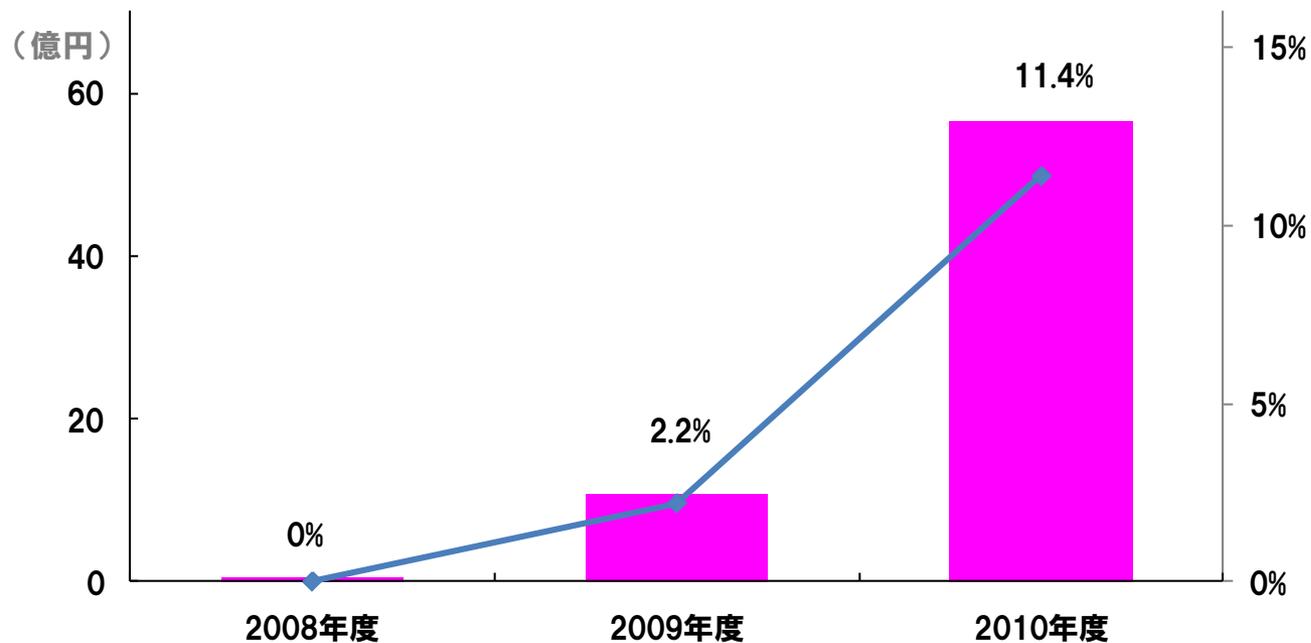
I-3 2010年度 連結利益



I-4 2010年度 連結海外売上高

【海外売上高】

【売上高比率】





I-5 第6次中期経営計画の成果

第6次中期経営計画(2006年～2010年度)

成果

■ 研究開発分野

◆ 潰瘍性大腸炎治療剤分野で世界トップブランドの
アサコールの国内上市

◆ 世界初の機能性ディスペプシア治療剤 Z-338の
国内製造販売承認申請

■ 売上、利益に貢献し、シナジーが得られるM&Aの実現

◆ イオナ インターナショナル、ティロツツ社(スイス)、
バイオフアック・エスビアウ社(デンマーク)の子会社化

■ コンドロイチンの大型ナショナルブランド化を実現



ゼリア新薬

Z E R I A

II. 第7次中期経営計画 (2011～2013年度)

「グローバル企業としての基盤づくり」と位置付け、

- 連結売上高伸率 年10%以上の成長
- 連結売上高 665億円
- 対売上高純利益率 5%
- 連結海外売上高比率 15%

を目指す

1. アサコールの売上拡大

- 国内市場シェア50%の獲得
- ティロツツ社自販地域の強化・拡大

2. Z-338(予定製品名:アコファイド®)

- 国内上市
- 欧米でのライセンス先の決定と開発推進

3. コンドロイチン製品群の拡充とコンドロイチン事業の拡大

4. 第2のナショナルブランド品を育成する



ゼリア新薬

Z E R I A

III. 2011年度(2012年3月期)の取り組み



III-1 2011年度 通期業績予想(連結)

- 売上高は10.1%の増収。営業利益は5.7%増、当期純利益は22.1%増と、ともに増益を計画

(単位:百万円)

	2010年度 実績		2011年度 通期業績予想		
		売上比		売上比	前年伸率
売上高	49,482	100.0%	54,500	100.0%	10.1%
営業利益	3,311	6.7%	3,500	6.4%	5.7%
経常利益	3,158	6.4%	3,500	6.4%	10.8%
当期純利益	1,842	3.7%	2,250	4.1%	22.1%
研究開発費	5,281	10.7%	6,000	11.0%	13.6%
海外売上高	5,645	11.4%	6,700	12.3%	18.7%
一株当たり配当	19円		20円		

① アサコールを医療用医薬品事業の柱に

② ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ

③ グローバル展開を加速

④ Z-338の展開

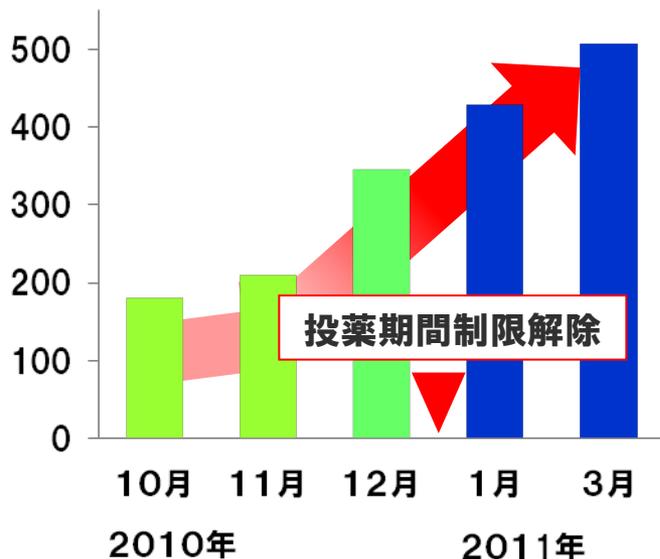
III-2-① アサコールを医療用医薬品事業の柱に

- 2011年1月 投薬期間制限の解除後、シェアが約20%に上昇
- 早期に、国内シェア50%を目指す



国内アサコール薬価売上高
(ゼリア+協和発酵キリン)

(百万円)



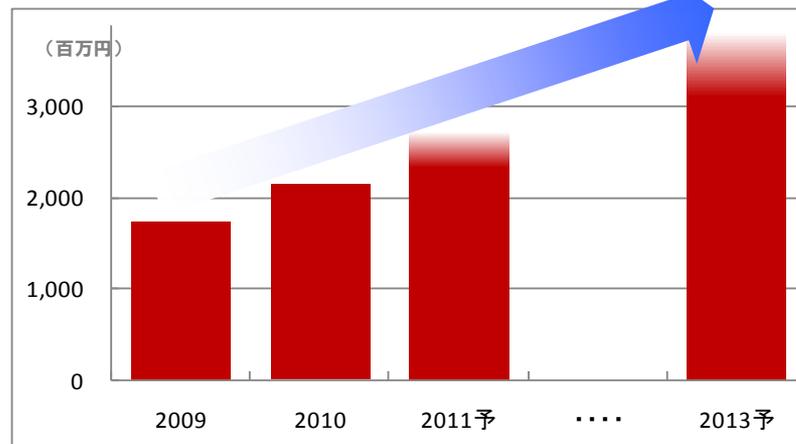
2011年1月29日 発売1周年記念講演会

III-2-② ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ

TV-CM、交通広告、新聞広告、WEB広告、店頭プロモーションなどのクロスメディア展開を継続



ヘパリーゼの売上高



新ヘパリーゼプラス



新ヘパリーゼドリンク



ヘパリーゼHi



ヘパリーゼキング





III-2-③ グローバル展開を加速

1) グローバル化に向け、国際事業本部を設置



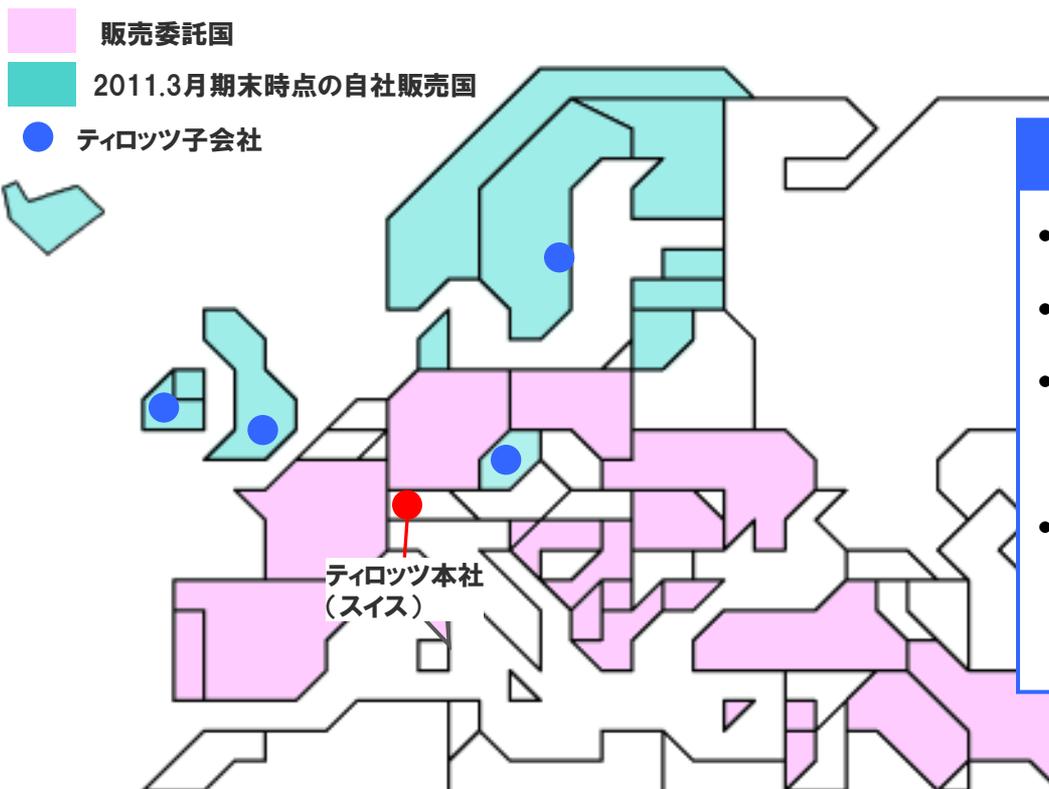
2) アジアでの基盤構築

医療用医薬品	コンシューマーヘルスケア製品
<ul style="list-style-type: none"> ■韓国:プロマックの上市 ■中国:アサコールPⅢの推進 ■中国:販売体制構築の着手 ■アジア地域:アサコール販売強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■韓国:OTC医薬品の販売開始を計画 ■台湾:OTC製品販売強化 ■中国他アジア地域:OTC製品販売を検討



3) ティロッツ社自社販売網の強化

■ 2011年度は、拡大した自社販売網の体制を強化し、順調な伸びを期待



自社販売網の推移

- 2005年: アイルランド
- 2009年: ノルディック5カ国
- 2010年: チェコ、イギリス、バルト三国
- 2011年以降も自社販売網の拡大を継続して進める方針

■ 2010年9月29日 医薬品製造販売承認申請

- 予定製品名「アコファイド®」
- 早期の発売を目指す

■ 世界展開が期待できる、自社オリジナル新薬

- アサコールと合わせ、グローバル展開の柱へ
- 欧州ではフェーズⅢの準備中、米国フェーズⅡ終了
- ライセンス先選定中



DDW2011(シカゴ)で7演題発表

米国消化器病学会など4学会が同時期に開催される、
参加者約1万5千人の消化器関連では世界最大級の学会

国内フェーズⅢ試験、欧州フェーズⅡ試験、非臨床薬理試験など

■ 日本語発表による特別シンポジウム6演題の1つにも選定

国内フェーズⅢ試験の結果

- ◆ ローマⅢ基準に合致したFD患者897例で実施
- ◆ Z-338(100mg、1日3回、4週投与)のプラセボに対する有効性・安全性が検証された

非臨床薬理試験の結果

- ◆ 標的臓器である胃に比較的高い濃度で分布
- ◆ 心臓機能(QT間隔)に影響することなく胃運動を亢進
- ◆ 求心性迷走神経を介してストレスによる胃排出の低下を改善する



ゼリア新薬
ZERIA

IV. 新薬パイプラインの状況



IV 新薬パイプラインの状況

国内消化器系分野

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-338	自社オリジナル 予定製品名 アコファイド	共同開発 (アステラス製薬)	申請中	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-103	導入	自社開発	フェーズIII	味覚障害 「プロマック」効能追加	亜鉛補充	ポラプレジック
Z-208	導入	共同開発 (テムリック)	フェーズI/II	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	タミバロテン
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (協和発酵キリン)	フェーズII	クローン病 「アサコール」効能追加	pH依存型放出調整製剤	メサラジン

国内その他

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-100	自社オリジナル	自社開発	フェーズIII 追加試験	子宮頸癌 「アンサー」効能追加	免疫調節作用	-
Z-521	自社オリジナル	自社開発	フェーズIII	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象	-
Z-207	導入	自社開発	フェーズII	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	-

海外

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-103	導入	導出 (SK Chemicals)	承認 (韓国)	胃炎・胃潰瘍 「プロマック」	胃粘膜保護作用	ポラプレジック
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (Tillotts Pharma)	フェーズIII (中国)	潰瘍性大腸炎 「アサコール」	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズIII準備中 (欧州)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズII終了 (北米)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズII準備中 (欧州)	膵臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体 拮抗作用	-



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先: 広報部 森山まで
Tel. 03-3661-1039 Fax. 03-3663-4203